

雇止めは自己都合退職なのですか？

民間の会社に勤めていましたが、雇止めとなり自己都合の退職扱いとなりました。雇止めなのでつきり会社都合と思っていたのですが、離職票には自己都合退職と書いてありました。ハローワークに行ったのですが、ハローワークでは、離職票に「雇用を希望します」の欄に印がつかないのでも「自己都合退職です」と言われました。どうしたらいいかという相談でした。ハローワークからは、納得できないのであれば異議申し立てができますと言われました。

電話相談を受けて、雇止めという制度をよく理解していない私は、雇止めであればすべて会社都合になるのかと考えていたのですが、契約で明確に雇用延長がないことを決めてあったり、自ら雇用延長を断ったりした場合は自己都合となることです。返答として、ハローワークがそういうのであれば、間違いはないのではないのでしょうかと答えながらも困惑しました。

相談者が言うには、離職票の署名欄に事務員が勝手に私の名前を署名している。去年も一昨年も6、7人雇止めにあっており、ハローワークでもその会社の名前は共有されているとのことでした。納得がいかないのであれば弁護士相談もありますのでとお答えしたのですが、相談者の方は、会社に名前が伝わると次の就職にうまくないという理由で「結構です」と電話を切られました。

自己都合なのか会社都合なのかで雇用保険の支給額に影響があり、勉強となる相談でした。

相談員 TK

何で？



ご近所トラブル、どうすればいいの？

近隣トラブルは、日常生活の中で誰しもが経験する可能性のある課題です。騒音・匂い・ペット・ゴミ関係等々が原因で発生し、精神的なストレスを与えるかもしれません。適切に対処するのは悩みの種と言えます。

車の音がうるさい、排気ガスのおいがする等で、隣との間に塀を設置したが、一度苦情を言われると、塀を設けても感情的な関係が生まれ、そのことを言われて困る。騒音が生活上の受忍できる限度を超えるものか否かが問われるのだろう。

ペットの音がうるさい。勝手に敷地に入ってきて困る。糞尿等の匂いもして困るといふもの。飼い主のしつけや、飼育している場所（屋内・屋外）、飼育者の注意（ペットにストレスを与えないよう獣医への相談、無駄吠え防止や糞尿などのトレーニング）などの対策も大事だ。

ゴミの出し方は各自治体によって決まっている。守ることは当たり前だが、それができない人にどのように注意すればよいかだ。直接話ができるならそれでよいが、戸建ての場合は自治会や町内会に相談してみる。集合住宅へは大家か不動産を管理している会社に相談する。他の地域の人が勝手に出して困る等で相手がわからない場合は、自営業として会員に番号を割り当て、ゴミ袋に番号を記載する方法で地区外か否かの判別ができる。

匂いでもありそう。てんぷらの匂いがする。薪ストーブの煙の臭いをあげる人がいるが、使い方や環境によっては変わる。

これが適切という対処とは言えないが、トラブルリスクに日頃どのように策をとっているのかをメモしておくことや、次善の策として近隣住民との日常的な関係性も大きいと思う。困った時は弁護士に相談して法的なアドバイスや対応を求めてもよい。原則民事不介入と言っても、いやがらせを受けた場合は警察に相談することも可能だ。

相談員 MK



年金も格差社会、でも・・・

高齢の女性からの相談です。今まで普通に仕事をして生活してきたが年齢とともに体力が落ち、病気で医者にかかることが多い、貯えは子供のために使って、パートの収入はわずかで、今の物価高で生活もギリギリの状態、これから先の老後について不安でしようがないなど、生活できる年金があればあまり心配することもないと思うが、少ない遺族年金での生活は食べていくのがやっと、病気がしたら医療費が払えないと心配している。役所に相談して生活保護の申請も行ったが断られた。どうしたらいいかと相談を受けた。

普通に仕事をして普通に生活してきた。年金を多くもらっている人より働いてきたと思っているが、年金や老後のことを考えてこなかったことは悪いと思うが、いろんな条件で老後の生活に格差がでるのは年金制度に問題があるのではないかと言われた。役所からは子供に生活支援を頼んでくださいと言われた。頼れる友人もいないので、足が悪くて医者にはタクシーを使っている。大きな出費です。

ハローワークで仕事を探すことを勧めた。体に負担の無い仕事で長く続けられる仕事を見つけること、市のサークルや催し物などに参加して知りあいを増やして、悩みを共有できる人を探すことで少しは安心できる老後の生活ができると思いますと説明した。タクシー代はかかりますがハローワークに行ってくださいと言っていた。お金のないことだけ悩んでも仕方がない。どうしたら生活していけるかを考えることが大切だと思う。

相談員 SM



困ったときはAI でも、ちょっと待て

プロ野球の巨人の監督の阿部慎之助さんが逮捕されたとの報道を聞きましたが、色々な問題が含まれているように感じました。監督の辞任までいったこの結末、警察の対応、マスコミの対応、児相の対応など、考えるべき点が多くあるニュースでした。

私が心配したのは、娘さんがAIに相談したら、「児相への連絡を」という回答が出たので児相に通報したということです。AIは私たち相談の仕事にも利用していますが、AIの様々な丁寧な回答に感心しております。利用すると確かに便利ではありますが、今回のニュースのようなことが起きると、AIの使い方には注意も必要なのではないかと考えてしまいます。AIに相談することもAIが児相と回答したのも悪いわけではないのですが、娘さんもここまで大きなことになるとは考えもしなかったはずはです。

AIは人間ではないので、阿部さんの家族の状況、阿部さんが置かれている立場、娘さんの立場などをすべて把握しているわけではないので、AI的回答となってしまうのだと思います。もともとは兄弟げんかのわけですから、警察や児相の対応もやりすぎだったのではないのでしょうか。

これからもAIに頼りすぎると同じような問題が多く出てくるような気がします。人間がAIに頼りすぎて自分で考えることをやめたら、人間社会はおかしな方向へ進むのではないのでしょうか。人間的なやさしさ、人間的な寛容さ、人間的な厳しさ、それらは機械では判断できないものがあるはずはです。相談にあたっては正論だけでなく、相談員の人間性、個性も時に必要なのではないかと思います。

相談員 ST